

上田 正樹



Photo by Miho Urushiwaki

version/Oct,2016



上田正樹はアルバムよりもライブステージでその真価がわかるアーティストの一人とあって良い。彼のライブステージを見たものすべてがその上田ワールドに感動する。そのソウルフルなボーカルとパワフルなステージは日本のみならず、海外でも高い評価を得ている。ファンキーでいてそしてブルージーなオリジナル曲を中心に構成されたステージは世代を超えて愛される内容である。そして見たものすべてを魅了する。

ビートルズや上田の原点となるR&Bのナンバーなどを上田正樹なりにアレンジしたカバー曲から「TAKAKO」「わがまま」「悲しい色やね」などのヒット曲もますます成熟した歌唱力で時を経ても色あせない「今」の曲として聞かせる。

ミリオンヒットをとばした名曲「悲しい色やね」を現在の上田正樹の解釈で歌うとき聞く人すべてが、あらためて本物のシンガーに感動する。最近の上田正樹のステージはホールコンサートからデイナーショー、またライブハウスまで場所やスタイルを問わず、常に本物のステージ・音楽を表現する。

近年では日本の有名DJが本物のR&Bシンガーとして上田正樹をフューチャーしたダンストラックなどをチャートインさせたり、国や宗教といった枠を飛び越えた国際的なアーティストとの交流・活動を展開し、様々なメディアで取り上げられたことから幅広い層の新たなファンを獲得している。幅広い世代のリピーターが多いのも特徴的である。

長いキャリアに裏付けされたそのパワフルなステージとその実力は上田正樹の名前だけを知っていたオーデイエンスにとって新たなる発見の場となっている。

上田正樹（うえだ まさき）

7月7日生れ

京都出身

R&B・ソウルシンガー、ソングライター

■ Biograph ■

1974年、伝説のスーパーバンド「上田正樹とサウス・トゥ・サウス」を結成し、当時のバンドブームの頂点に立つ。その後ソロとなりソウルフルなヴォーカルと独特なステージで根強いファンを獲得すると共に、コンスタントにアルバムを発表する。年間実に多くのステージをこなす一方で、BBKING、ジュニアウエルズ、クルセイダーズといった世界的に有名なアーティストとの競演も果たしており、現在の日本の音楽業界においてワン・アンド・オンリーのポジションに立ち続けている。最近「同じ情緒を共有できる」アジアの様々なトップ・アーティスト達とコラボレーションしており、インドネシア、マレーシアでヒット・チャート1位を獲得するなどインターナショナルなアルバム・セールスでも注目される、唯一の日本人シンガーである。

1974年	伝説のスーパーバンド「上田正樹とサウス・トゥ・サウス」を結成。	2002年	5月	BLACK BOTTOM BRASS BANDとのコラボレーション・アルバム『Spiral』を発表。
1975年	有山淳司とのジョイント・アルバム『ぼちぼちいこか』発表。	2003年	1月	Yebisビール(by Sapporoビール)のCMに上田正樹がアカペラで歌う“第3の男”のテーマが起用される。1月1日より全国でオン・エア。
1976年	奈良公演ライブを最後に「上田正樹とサウス・トゥ・サウス」を解散。	2004年		アルバム『SMILE』発売。 音楽制作を生活の中心に据えるために、神奈川県三浦市三崎に拠点を移し、且つ地域に根ざした活動を行う。その活動が認められ三浦市のもてなし大使に任命される。音楽とともにそのライフスタイルが注目され、日経マネー、NHK『おしゃれ工房』、テレビ東京系列『住まいの極意』等テレビ、雑誌に数多く取り上げられる。
1977年	初ソロ・アルバム『上田正樹』発表。ソロ・シンガーとして出発。	2005年		アルバム『IMAGIN』発売。藤山直美さんの『赤い夕日のサイゴンホテル』の劇中歌『星空の下で』を書き下ろす。
1980年	“STUFF”とセッションした4曲入のアルバム限定発売。	2006年		アルバム『FREEDOM』発売。LIVE DVD『MTV PREMIUM LIVE MASAKI UEDA』発売。
1981年	CBSソニーへ移籍。アルバム『Jealous Night』発表。	2007年		NHK土曜ドラマ『新マチベン』主題歌に『somewhere sometime』が採用される。同曲も収められたアルバム『OSAKA』を発売。 語りおろしの著書『戻りたい過去なんてあらへん』出版。
1983年	シングル『悲しい色やね』が関西地区の有線放送からヒットする。 シングル・チャート1位になる。	2008年	1月	上田正樹プロデュースのCDがスターバックス コーヒー ジャパン株式会社から発売される「る2008年限定福袋」の限定アイテムとして納められる。 「コーヒーの生産地(ラテンアメリカ・アフリカ・アラビア・アジア・太平洋)」をテーマに、ブラジル、韓国、フィリピン、日本、アフリカ、出身の様々なミュージシャン達とコラボレーションで『African Beat』『Asia SoulLatin』『Latin America-Heart』の3タイトルを発表。
1984年	ジャマイカからスライ&ロビーを招き、アルバム『抱きしめたい』を収録し6月に発表。	2009年		25年振りとなる世界的リズムセクション、スライ&ロビーとレコーディングを行い、アルバム「FINAL FRONTIER」を発表。8~9月にかけて全国ツアーを展開。
1987年	3年ぶりの全国41ヶ所コンサート・ツアー。	2010年	5月	11年振りとなるオリジナルアルバム「SMOOTH ASIA」を発表。 各メディアへの出演からライブ・イベント等さらに精力的に活動を続ける。
1988年	「悲しい色やね」が森田芳光監督により、映画化される。 9月にシングル『ミッドナイトトランスファー』がNHK銀河ドラマの主題歌になる。	2011年	2月	熟年世代へ向けたメッセージを込めた異色のアルバム「俺たちの歌」リリース
1989年	松竹映画“せんせい”の主題歌『望郷』発表。	4月		タイの著名サックスプレイヤー“KOH Mr.SAXMAN”をゲストに招き東京にて公演
1990年	中野サンプラザでB.B KINGと共演。 12月にB.B KINGとのライブ・アルバム『B.B KING&His Son』発表。 また東京ドーム“ジョン・レノン誕生50周年記念コンサート”出演。 (同出演：マイルス・デイヴィス、ナタリー・コール他)	6月		バンコクにて初のタイ公演を成功に終わらせる。東日本大震災チャリティーライブとして開催。再びKOH Mr.SAXMANと共演。
1991年	4月 日本航空CM出演。 9月 NHKドラマ“近松青春日記”テーマ曲CDシングル『ずっと遠くで』発表。	8月		緑の惑星プロジェクトが主催し国土緑化機構が推進する“1000の瞳プロジェクト”の楽曲「今ある気持ち」をレコーディング。のちに石巻市立稲井小学校・岐阜県の高山市立松倉中学校の生徒と合唱し、チャリティーCDをリリース。
1992年	アルバム『Real Groove』発表。 シングル『わがまま』が朝日放送ドラマのテーマ曲になり、ヒット。	2012年	1月	毎日放送の人気番組「せやねん」へ楽曲提供。エンディングテーマとしてOAされる。
1994年	シングル『It's Allright』が“NTT Docomo”(関西)CM曲でON AIR。	3月		ニューアルバム「遠ざかる日本(ふるさと)の歌」リリース
1998年	大阪ブルーノートでオーティス・レディングに捧げたトリビュート・コンサート3-daysを行う。			
1999年	9月 『Hands Of Time』が視聴率30%の韓国の人気ドラマ“GHOST”の主題歌になる。その曲を収録したサウンド・トラック・アルバムが韓国で発売され、30万枚のヒットとなる。			
2000年	5月 インドネシアのR&Bシンガー、REZAとのデュエット曲をインドネシアでリリース。 7月 REZAとのデュエット曲『Forever Peace』がインドネシア、マレーシアでヒット。15週間連続ヒット・チャート1位を獲得。			
2001年	5月 日比谷野音で行われたブルースカーニバルにオーティス・ラッシュ等と共に出演。 9月 上田正樹が解釈するブルース・アルバム『No More Blues』発表。 10月 NHK BS“わが心の旅”の収録のため西アフリカに行く。現地のカリスマ・ヒップ・ホップ・グループとレコーディングする。			

Discography

最新アルバム



「遠ざかる日本 (ふるさと) の歌」

2012,3/7 OnSale
UICZ-4260 ¥3,150(税込)

童謡・唱歌をモチーフに「心の歌」を魂（ソウル）をこめて唄いあげ、独自の感覚と音楽性で表現する意欲作。3.11の震災後、気仙沼を訪れ、祈りを込めて作った『今ある気持ち』のNew Versionを収録。

【Album】

- 1975年 『ぼちぼちいこか』
- 1975年 『この熱い魂を伝えたいんや〜ライブ』
- 1977年 『上田正樹』
- 1978年 『ハーダーゼイカム』
- 1978年 『PUSH & PULL』
- 1978年 『THE SESSION』
- 1981年 『JEALOUS NIGHT』
- 1981年 『NO PROBLEM』 EP 『SWEET CUPID』
- 1983年 『HUSKY』
- 1984年 『抱きしめたい』
- 1984年 『サイレンス』
- 1987年 『おまえの男だったときに』
- 1986年 『ラブ ビター』
- 1990年 『B.B.King & HIS SON』 (ビクター音楽産業)
- 1990年 『家を出る少年だった頃』
- 1991年 『STRAIGHT TO THE HEART』
- 1992年 『サウス・トゥ・サウス'91 ライヴ』 (上田正樹&サウス・トゥ・サウス)
- 1992年 『REAL GROOVE』
- 1993年 『Here, I am』
- 1993年 『That's A Point』
- 1994年 『Still Lovin' You』
- 1995年 『Roots』
- 1995年 『SWEET VOICE』
- 1998年 『Soulscapes』
- 1999年 『HANDS OF TIME』
- 2001年 『NO MORE BLUES』
- 2003年 『Smile』
- 2004年 『Imagine』
- 2006年 『Freedom』
- 2007年 『OSAKA』
- 2008年 『African Beat』 『Asia SoulLatin』 『Latin America-Heart』
『ぼちぼちいこか '08 フィーチャリング くだおれ太郎』
- 2009年 『FINAL FRONTIER』
- 2010年 『SMOOTH ASIA』

- 2011年 『俺たちの歌』
- 2012年 『遠ざかる日本 (ふるさと) の歌』

【Single】

- 1976年 『やせた口笛で』
- 1977年 『悲しい日々』
- 1979年 『女は言葉じゃない』
- 1980年 『TOKYO FUN OSAKA SOCK IT TO ME』
- 1981年 『東京エクスプレス』
- 1981年 『涙のダーリング』
- 1981年 『悲しい色やね〜OSAKA BAY BLUES』
- 1981年 『AFTER MIDNIGHT〜バラードまでそばにいて』
- 1983年 『MISS YOU BABY』
- 1983年 『レゲエであの娘を寝かせたら』
- 1984年 『TAKAKO』
- 1984年 『STAND BY ME』 (12inchi)
- 1985年 『キャロラインズ ホテル』
- 1984年 『人しれず恋』
- 1986年 『思い出が降る夜』
- 1987年 『GO WEST』
- 1990年 『OSAKA ON MY MIND』
- 1991年 『ずっと遠くで』
- 1992年 『Brother J.O.』
- 1992年 『わがまま』
- 1993年 『Midnight Lover』
- 1994年 『It's Alright』
- 1994年 『Still Lovin' You』
- 2004年 『ジャスト・マイ・メモリー』

『戻りたい過去なんてあらへん』



【VTR/DVD他】

- 1984年 『PRIVATE FILE』 (ライブビデオ)
- 1992年 『シンパイスナ、アンシンスナ』 (ライブビデオ)
- 1998年 『tribute』 VTR/DVD
- 2006年 『MTV PREMIUM LIVE MASAKI UEDA』 DVD
- 2007年 『戻りたい過去なんてあらへん -上田正樹語りおろし』 書籍
- 2009年 『ライブ アット 道頓堀 くだおれ ぼちぼちいこか ザ・ムービー』 DVD

■東日本大震災との関わり■



2011年5月気仙沼にて



2011年11月 稲井小学校でのレコーディング風景



2012年3月10日 石巻市鎮魂のゆうべ



2012年3月11日 仙台空港イベント 稲井小学校の生徒有志と

2011年5月に気仙沼を訪れる機会を得て、そこで畠山重篤氏と出会い、震災にまつわる話しを聞くにつれ、様々な思いが生まれる。

そこへ国土緑化機構と緑の惑星プロジェクトが推進するの震災チャリティ企画”1000の瞳プロジェクト”の楽曲「今ある気持ち」(作詞・作曲/作曲)をレコーディング、発表する。

後に、石巻市立稲井小学校生徒400名と岐阜県高山市立松倉中学校生徒400名の計800名と再レコーディングを行い、全国に向けてチャリティCDとして発表する。

また、繰り返し被災地を訪れ現地の方々と接するにつれ、作品へもその思いは反映され、童謡・唱歌のカバーアレンジ曲を中心としたアルバム「遠ざかる日本（ふるさと）の歌」をリリースする。

これまでは日本のBlues,R&Bを代表するシンガーとして確固たる実績と認知を得ていた上田正樹へは大きな驚きを持ってシーンに受け止められる。

この頃より、自身のコンサートの中で”震災を風化させない”・”音楽で出来ることをし続ける”という意味をコメントし続け、演奏にも加えるようになる。

・石巻での主な出演

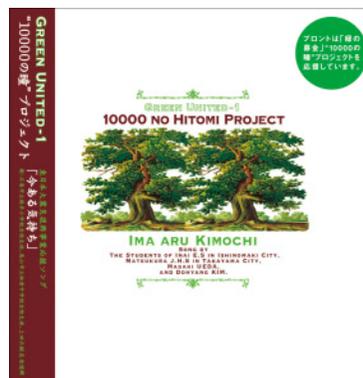
2011年12月24日 クリスマスチャリティイベント（石巻専修大学）

2012年3月10日 鎮魂の夕べ（石巻駅前）

2012年8月1日 石巻川開き（石巻大町商店街）

決してメディアなどへはアピールすることはなくとも、音楽で出来ることを確実に支援として続けていく。

「今ある気持ち」



「遠ざかる日本（ふるさと）の歌」



■上田正樹が子供たちと歌う■

上田正樹は”音楽を通して次世代の子供たちと共感を共にする”をライフワークにこれまで様々な形でコラボレーションを行っています。

■上田正樹が子供たちと歌う「We are the world」

2005年 奈良県

2006年 神奈川県三浦市（芸術祭プレイベント/三崎小学校）※映像資料あり

2007年 大阪府箕面市北小学校（箕面市芸術祭）

※小学生約100名

2008年 宮崎県都城市「音楽の贈り物」

※小学生75名

2009年 横浜市開港祭1000人の合唱隊と

2011年 岩手県平泉町「福興祭」（世界遺産登録記念・震災復興イベント）

※2校合同中学生約100名



※子供たちと歌う「We are the world」は上田正樹が日本語のオリジナル歌詞を加えています。

■上田正樹が子供たちと歌う「今ある気持ち」

前出の東日本大震災復興支援ソング「今ある気持ち」は発表以来様々な会場で、多くの子供たちとコラボレーションしています。

2011年 石巻稲井小学校・岐阜高山市松倉中学校（レコーディング）

復興支援コンサート（羽田空港クラウン合唱団、関西国際空港）

毎日放送”せやねん”内にて大阪市玉津中学校

2012年 仙台空港（震災一周年、復興祈願コンサート-稲井小学校）

石巻鎮魂の夕べ

2014年 沖縄県豊見城市において、地元の小学生50名、招待された福島県の小学生50名）

2013～2015年 大阪市南港にて開催された復興支援コンサートにて加美南中学・文の里中学校のコーラス部と



■ Live ■



○バンド基本編成 Vocal;上田正樹
Keyboard,Bass,Guitar,Drums,Cho

○アコースティック編成
Vocal ; 上田正樹
Keyboard,Cho

※移動スタッフ、メンバー等
上記編成メンバー+マネージャー+PAエンジニア

詳細ご相談致しますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい

○その他 (別途かかる経費)

- ・ PA ツアーパッケージにて乗り込み基本
機材現地手配でも可 (ご相談の上)
- ・ 照明 機材-現地
オペレーター-乗り込み
- ・ 楽器類 現地にてレンタル手配あり
経費主催者様にてご負担
- ・ 移動交通費、宿泊費
主催者様にて手配、ご負担